

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	専門学校中央医療健康大学校
設置者名	学校法人鈴木学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
専門課程	理学療法学科	夜・通信	3,150 単位時間	320 単位時間	
	トータルケア鍼灸学科 (昼間部)	夜・通信	2,880 単位時間	240 単位時間	
	スポーツ柔整学科 (午前部)	夜・通信	2,730 単位時間	240 単位時間	
	スポーツ柔整学科 (午後部)	夜・通信	2,730 単位時間	135 単位時間	
	歯科衛生学科	夜・通信	3,230 単位時間	240 単位時間	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

資料の名称：シラバス 入手の方法：学校法人鈴木学園 法人本部に連絡（電話：055-971-1833）

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	専門学校中央医療健康大学校
設置者名	学校法人鈴木学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

ホームページ： https://www.suzuki.ac.jp/about/disclosure/

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	給食センター 経営者	2016年9月 21日～2020 年9月20日 ※再任予定	企画・経営
非常勤	労務保健事務組合 理事	2016年9月 21日～2020 年9月20日 ※再任予定	人事・総務・労務
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	専門学校中央医療健康大学校
設置者名	学校法人鈴木学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「鈴木学園シラバス作成ガイドライン」にシラバスに記載すべき項目を規定している。 ・シラバスは学園共通の様式に統一している。 ・シラバスは各学科会議のカリキュラムに基づき担当教員が作成し、学科長が確認している。 ・シラバスは毎年3月末までに作成している。 ・ホームページにシラバスの入手方法と連絡先を公開している。 	
<p>授業計画書 公表方法</p>	<p>資料の名称：シラバス 入手の方法：学校法人鈴木学園 法人本部に連絡 (電話：055-971-1833)</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業、実習、演習、小テスト、課題提出、試験やレポートなどの提出により、シラバスで一般目標や到達目標を定めて評価を行っている。 ・学則や細則等で規定した成績判定の基準により履修認定している。 	
<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)	
<ul style="list-style-type: none"> ・「G P A制度に関する規程」と学生向け説明「G P A制度について」を定め、ホームページに公開している。 ・G P A制度に関する規程に基づき、成績分布の把握を行っている。 	
客観的な指標の 算出方法の公表方法	ホームページ： https://www.suzuki.ac.jp/about/disclosure/
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。	
(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)	
<ul style="list-style-type: none"> ・卒業の認定に関する方針（ディプロマポリシー）は他のポリシーと一緒に3つのポリシーとして策定している。 ・ディプロマポリシーや学生の修得単位数、出席率、成績評価を踏まえ、卒業を認定している。 	
卒業の認定に関する 方針の公表方法	ホームページ： https://www.suzuki.ac.jp/about/disclosure/

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	専門学校中央医療健康大学校
設置者名	学校法人鈴木学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	資料の名称：事業報告書 入手の方法をHPに掲載： https://www.suzuki.ac.jp/about/disclosure/procedure/ 入手の方法：学校法人鈴木学園 法人本部に連絡 (電話：055-971-1833)
収支計算書又は損益計算書	
財産目録	
事業報告書	
監事による監査報告（書）	

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		専門課程	理学療法学科		○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4年	昼	3,570 単位時間	1740 単位時間	540 単位時間	1290 単位時間	単位時間	単位時間
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
160人		151人	0人	6人	24人	30人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 授業は講義、演習、実習の形態をとり、前期・後期・通年科目にて構成される。 基礎から専門的な学習へ段階的に習得可能なカリキュラム編成で、より実践的な知識・技術の習得を目標としている。
成績評価の基準・方法
（概要） 授業、実習、演習、小テスト、課題提出、試験やレポートなどの提出により、シラバスで一般目標や到達目標を定めて評価を行う。 学則や細則等で規定した成績判定の基準により履修認定する。
卒業・進級の認定基準
（概要） 学則・細則・GPA制度に関する規程等により評価する。 卒業の認定に関する方針（ディプロマポリシー）や学生の修得単位数、出席率、成績評価を踏まえ、進級や卒業を認定する。

学修支援等 (概要) 補習、補講、模擬試験、再試験、三者面談、個別相談等
--

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
34人 (100.0%)	0人 (0.0%)	32人 (94.1%)	2人 (5.9%)
(主な就職、業界等) 病院、診療所、介護保険施設など			
(就職指導内容) 求人票の見方、履歴書の書き方、面接の受け方、自己PRの仕方、模擬面接指導など			
(主な学修成果 (資格・検定等)) 国家資格：理学療法士			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
151人	6人	3.97%
(中途退学の主な理由) 経済的理由、学業不振、学校の生活が合わない、進路変更、病気・ケガ等		
(中退防止・中退者支援のための取組) 学習支援、個別相談、三者面談、専門家によるカウンセリング等		

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士	
医療	専門課程	トータルケア鍼灸学科 (昼間部)	○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類		
			講義	演習	実習
3年	昼	3,200 単位時間/単位	2,480 単位時間 /単位	180 単位時間 /単位	540 単位時間 /単位
		単位時間/単位			
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
60人	47人	0人	6人	14人	18人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 鍼灸師に必要な基礎分野、専門基礎分野、専門分野等について、講義・実技・実習を通して3年間で理解する。
成績評価の基準・方法
（概要） 授業、実習、演習、小テスト、課題提出、試験やレポートなどの提出により、シラバスで一般目標や到達目標を定めて評価を行う。 学則や細則等で規定した成績判定の基準により履修認定する。
卒業・進級の認定基準
（概要） 学則・細則・GPA 制度に関する規程等により評価する。 卒業の認定に関する方針（ディプロマポリシー）や学生の修得単位数、出席率、成績評価を踏まえ、進級や卒業を認定する。
学修支援等
（概要） 補習、補講、模擬試験、再試験、三者面談、個別相談等

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
6人 (100.0%)	2人 (33.3%)	1人 (16.7%)	3人 (50.0%)
（主な就職、業界等） 鍼灸院			
（就職指導内容） 求人票の見方、履歴書の書き方、面接の受け方、自己PRの仕方、模擬面接指導など			
（主な学修成果（資格・検定等）） 国家資格：はり師・きゆう師			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
40人	7人	17.5%
（中途退学の主な理由） 進路変更、学業不振		

(中退防止・中退者支援のための取組)
 学習支援、個別相談、三者面談、専門家によるカウンセリング等

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		専門課程	スポーツ柔整学科 午前部	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	2,970 単位時間/単位	1,680 単位時間 /単位	270 単位時間 /単位	180 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	840 単位時間 /単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
90人		77人	0人	6人	19人	25人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 基礎分野、専門基礎分野、専門分野、選択分野の講義・演習・実習・実技を通して3年間で修学していく
成績評価の基準・方法
(概要) 授業、実習、演習、小テスト、課題提出、試験やレポートなどの提出により、シラバスで一般目標や到達目標を定めて評価を行う。 学則や細則等で規定した成績判定の基準により履修認定する。
卒業・進級の認定基準
(概要) 学則・細則・GPA制度に関する規程等により評価する。 卒業の認定に関する方針(ディプロマポリシー)や学生の修得単位数、出席率、成績評価を踏まえ、進級や卒業を認定する。
学修支援等
(概要) 補習、補講、模擬試験、再試験、三者面談、個別相談等

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
23人 (100%)	1人 (4.3%)	16人 (69.7%)	6人 (26%)

(主な就職、業界等) 鍼灸・接骨院、整形外科、介護施設、パーソナルジム
(就職指導内容) 求人票の見方、履歴書の書き方、面接の受け方、自己PRの仕方、模擬面接指導など
(主な学修成果(資格・検定等)) 国家資格：柔道整復師、日本トレーニング指導者協会認定資格、キネシオテーピング協会認定資格、日本リフレクソロジスト認定機構資格、JCCA認定資格等
(備考)(任意記載事項) 令和元年度 スポーツ柔整学科3年生の実績

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
80人	11人	13.8%
(中途退学の主な理由) 経済的理由、学業不振、学校の生活が合わない、進路変更等		
(中退防止・中退者支援のための取組) 学習支援、個別相談、三者面談、専門家によるカウンセリング等		
(備考)(任意記載事項) 令和元年度 スポーツ柔整学科3年生の中途退学を含む		

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
医療	専門課程	スポーツ柔整学科 午後部	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数 2,970 単位時間/単位	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	夜		1,680 単位時間 /単位	270 単位時間 /単位	180 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	840 単位時間 /単位
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
84人		33人	0人	6人	18人	24人	

カリキュラム(授業方法及び内容、年間の授業計画) (概要) 基礎分野、専門基礎分野、専門分野、選択分野の講義・演習・実習・実技を通して3年間で修学していく
成績評価の基準・方法

<p>(概要)</p> <p>授業、実習、演習、小テスト、課題提出、試験やレポートなどの提出により、シラバスで一般目標や到達目標を定めて評価を行う。</p> <p>学則や細則等で規定した成績判定の基準により履修認定する。</p>
<p>卒業・進級の認定基準</p>
<p>(概要)</p> <p>学則・細則・GPA 制度に関する規程等により評価する。</p> <p>卒業の認定に関する方針（ディプロマポリシー）や学生の修得単位数、出席率、成績評価を踏まえ、進級や卒業を認定する。</p>
<p>学修支援等</p>
<p>(概要)</p> <p>補習、補講、模擬試験、再試験、三者面談、個別相談等</p>

<p>卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）</p>			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
18人 (100%)	0人 (0%)	12人 (66.7%)	6人 (33.3%)
<p>(主な就職、業界等)</p> <p>鍼灸・接骨院、整形外科、介護施設</p>			
<p>(就職指導内容)</p> <p>求人票の見方、履歴書の書き方、面接の受け方、自己PRの仕方、模擬面接指導など</p>			
<p>(主な学修成果（資格・検定等）)</p> <p>国家資格：柔道整復師、日本トレーニング指導者協会認定資格、キネシオテーピング協会認定資格、日本リフレクソロジスト認定機構資格、JCCA 認定資格等</p>			
<p>(備考) (任意記載事項)</p> <p>令和元年度 柔道整復学科3年生の実績</p>			

<p>中途退学の現状</p>		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
40人	9人	22.5%
<p>(中途退学の主な理由)</p> <p>経済的理由、学業不振、学校の生活が合わない、進路変更等</p>		
<p>(中退防止・中退者支援のための取組)</p> <p>学習支援、個別相談、三者面談、専門家によるカウンセリング等</p>		
<p>(備考) (任意記載事項)</p> <p>令和元年度 柔道整復学科3年生の中途退学者を含む</p>		

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		専門課程	歯科衛生学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	3,230 単位時間	905 単位時間	870 単位時間	1,455 単位時間	単位時間	単位時間
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
105人		101人	0人	5人	38人	43人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 歯科衛生士に必要な基礎医学、基礎歯科、医学における知識の修得と、実践的な技術を修得するために、演習・基礎実習・臨床実習を3年間で学んでいく。
成績評価の基準・方法
（概要） 授業、実習、演習、小テスト、課題提出、試験やレポートなどの提出により、シラバスで一般目標や到達目標を定めて評価を行う。 学則や細則等で規定した成績判定の基準により履修認定する。
卒業・進級の認定基準
（概要） 学則・細則・GPA制度に関する規程等により評価する。 卒業の認定に関する方針（ディプロマポリシー）や学生の修得単位数、出席率、成績評価を踏まえ、進級や卒業を認定する。
学修支援等
（概要） 補習、補講、模擬試験、再試験、三者面談、個別相談等

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
32人 (100%)	0人 (0%)	31人 (96.9%)	1人 (3.1%)
（主な就職、業界等） 歯科医院			
（就職指導内容） 求人票の見方、履歴書の書き方、面接の受け方、自己PRの仕方、模擬面接指導など			

(主な学修成果 (資格・検定等)) 国家資格：歯科衛生士
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
98 人	1 人	1.0%
(中途退学の主な理由) 経済的理由、学業不振、学校の生活が合わない等		
(中退防止・中退者支援のための取組) 学習支援、個別相談、三者面談、専門家によるカウンセリング等		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
理学療法学科	300,000 円	822,000 円	354,000 円	その他 ・施設設備費 ・実習費
トータルケア鍼灸学科 昼間部	400,000 円	792,000 円	306,000 円	
スポーツ柔整学科午前部	300,000 円	906,000 円	306,000 円	
スポーツ柔整学科午後部	300,000 円	906,000 円	306,000 円	
歯科衛生学科	200,000 円	582,000 円	325,000 円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.suzuki.ac.jp/about/disclosure/		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制)		
学校関係者評価委員会規定に役割・任期・運営方法などを定めている。 主な評価項目 : 教育理念・目標、学校運営、教育活動、学修成果、学生生活支援、 教育環境、学生の受け入れ募集、財務、法令等の遵守 評価委員会の構成 : 当学校の教職員以外の者で3名以上 (企業関係者、保護者、その他教育に関する有識者、卒業生) 評価結果活用方法 : 校長が1ヶ月以内に科会を開催して評価結果の共有と改善策を 作成し、設置者に報告する		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
理学療法学科 平成28年度生(4年生)の保護者	平成31年4月1日～ 令和2年3月31日	保護者
浦島メディカルクリニック	平成31年4月1日～ 令和2年3月31日	企業関係者
筑波技術大学 保健科学部 学部長	平成31年4月1日～ 令和2年3月31日	その他教育に関する有 識者
トータルケア鍼灸学科 1期生(2年生)の保護者	平成31年4月1日～ 令和2年3月31日	保護者
中央調理製菓専門学校静岡校 上級調理経営学科 学科長	平成31年4月1日～ 令和2年3月31日	その他教育に関する有 識者
株式会社 元気広場	平成31年4月1日～ 令和2年3月31日	企業関係者
スポーツ柔整学科 第11期生(2年生)の保護者	平成31年4月1日～ 令和2年3月31日	保護者
立志道接骨院 院長	平成31年4月1日～ 令和2年3月31日	企業関係者
禅整骨院 院長	平成31年4月1日～ 令和2年3月31日	卒業生

歯科衛生学科 第5期生(2年生)の保護者	令和2年3月31日～ 令和3年2月28日	保護者
今村歯科医院 院長 (一社)静岡市静岡歯科医師会 副会長	令和2年3月31日～ 令和3年2月28日	企業関係者
中央歯科衛生士調理製菓専門学校 歯科衛生学科 教員	令和2年3月31日～ 令和3年2月28日	その他教育に関する有識者
学校関係者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.suzuki.ac.jp/about/disclosure/		
第三者による学校評価(任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.suzuki.ac.jp/chuoiryo/
--

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。